

## 在外日本古美術品保存修復協力事業 <sup>(コ04)</sup>

**研究組織** 加藤雅人、友田正彦、片渕奈美香、清水綾子（以上、文化遺産国際協力センター）、江村知子、米沢玲（以上、文化財情報資料部）、三本松俊徳、佐々木薫（以上、研究支援推進部）、大河原典子、杉山恵助（以上、客員研究員）

**目的** 日本の文化財は欧米を中心に海外でも多く所蔵されている。しかし、日本文化財の保存修復専門家は海外にほとんどおらず、多くの博物館などで適切な処置に窮している。そこで、本事業では海外で所蔵されている日本文化財の保存修復に関する助言等の協力を行う。また、本格的な修復が必要な絵画作品に関しては日本で修復して返還する。さらに、日本とは異なる条件にある海外所在作品に関して、その保存修復方法の研究を行い、成果を公開、共有する。

### 成果

令和3年度は、2件の作品修復を進めた。また、既に修復が終わり、所蔵館に返還した作品については報告書を作成した。

#### 1. 作品修復

- 「女房三十六歌仙扇面貼交屏風」  
モントリオール美術館（カナダ）所蔵。紙本金地着色。屏風6曲1双。  
本作品の修復を行った。
- 「熊野曼荼羅」  
モントリオール美術館（カナダ）所蔵。絹本着色。掛軸1幅。  
本作品の修復を行った。

#### 2. 報告書

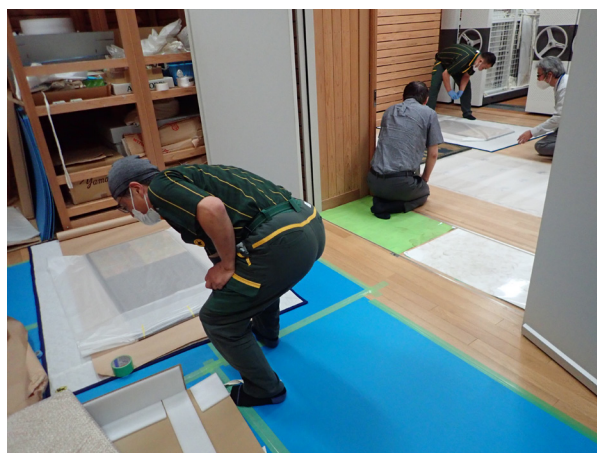
- 『在外日本古美術品保存修復協力事業 親鸞聖人絵伝 No.2015-4 修復報告』  
ナショナル・ギャラリー・オブ・ビクトリア（オーストラリア）所蔵「親鸞聖人絵伝」（絹本着色、掛軸4幅）の修復報告書を作成、刊行した。

#### 刊行物

- 『在外日本古美術品保存修復協力事業 親鸞聖人絵伝 No.2015-4 修復報告』東京文化財研究所 22.3



表装の解体（「熊野曼荼羅」）



修復工房へ搬送するための作品梱包（「女房三十六歌仙扇面貼交屏風」）